

令和5年度 滝沢市商工会経営発達支援計画事業評価

評価基準 A：目標を達成することができた（100%以上）、B：目標を概ね達成することができた（80%～99%）、C：目標を半分程度しか達成することができなかった（30%～79%）、D：目標をほとんど達成することができなかった（30%未満）

経営発達支援事業の目標						実施する事業	事務局 評価	委員会 評価
3－1．地域の経済動向調査に関すること (目標)						・地域の経済動向分析公表（1回） 国のビックデータ「RESAS」(地域経済分析システム)を活用して地域の経済動向を分析し、レポートとして年1回公表した。 ・景気動向分析の公表（2回） いわぎんリサーチ&コンサルティングのマンスリーレポートの「岩手県内経済の動き」や県保証協会「保証月報」、県商工会連合会「中小企業景況調査報告書」等の外部調査データを収集・活用し、市内の景気動向を分析し、レポートとして年2回公表した	A	A
項 目	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度			
地域の経済動向分析の公表回数	1 回	1 回	1 回	1 回	1 回			
景気動向分析の公表回数	2 回	2 回	2 回	2 回	2 回			
3－2．需要動向調査に関すること (目標)						・自店舗、朝市を活用したニーズ調査（BtoC） 下記日程によりアンケート調査を実施した。 10月 1日 1社（パティスリー津志田） 10月 15日 1社（nomos） 1月 24日 1社（Café Wagtail） 計3社 ニーズ調査結果をフィードバックし、今後商品をブラッシュアップする際に参考にしてみようこととした。 ・大学生を対象としたニーズ調査（BtoC） 下記日程により岩手県立大生を対象にアンケート調査を実施した。 11月 1日 1社（学生服リユース shop さくらや盛岡店） 11月 1日 1社（美容室ヒラトヤ滝沢店）	A	A
項 目	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度			
①自店舗、朝市を活用した ニーズ調査対象事業者数	3 社	3 社	3 社	3 社	3 社			
②大学生に対するニーズ 調査対象事業者数	3 社	3 社	3 社	3 社	3 社			
③展示会、商談会でのバイ ヤーニーズ調査対象事業 者数	3 社	3 社	3 社	3 社	3 社			

経営発達支援事業の目標						実施する事業	事務局 評価	委員会 評価																																				
4. 経営状況の分析に関すること (目標) <table><tr><th>項 目</th><th>3 年度</th><th>4 年度</th><th>5 年度</th><th>6 年度</th><th>7 年度</th></tr><tr><td>経営分析件数</td><td>60 件</td><td>60 件</td><td>60 件</td><td>60 件</td><td>60 件</td></tr></table> 5. 事業計画策定支援に関すること (目標) <table><tr><th>項 目</th><th>3 年度</th><th>4 年度</th><th>5 年度</th><th>6 年度</th><th>7 年度</th></tr><tr><td>(1)事業計画策定件数</td><td>35 件</td><td>35 件</td><td>35 件</td><td>35 件</td><td>35 件</td></tr><tr><td>(2)創業計画策定件数</td><td>5 件</td><td>5 件</td><td>5 件</td><td>5 件</td><td>5 件</td></tr><tr><td>(3)事業承継計画策定件数</td><td>5 件</td><td>5 件</td><td>5 件</td><td>5 件</td><td>5 件</td></tr></table>						項 目	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	経営分析件数	60 件	60 件	60 件	60 件	60 件	項 目	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	(1)事業計画策定件数	35 件	35 件	35 件	35 件	35 件	(2)創業計画策定件数	5 件	5 件	5 件	5 件	5 件	(3)事業承継計画策定件数	5 件	5 件	5 件	5 件	5 件	11 月 10 日 1 社 (有)哲学堂) ニーズ調査結果を事業者にフィードバックし、今後ターゲットとなり得る若年層向け新サービス等の開発に役立ててもらった。 ・展示会・商談会でのバイヤーニーズ調査 (BtoC) 商談会開催時に、商談先バイヤーから出展事業者の商品に対する需要動向やニーズについて聞き取り調査を実施した。 12 月 8 日・9 日 (伊藤牧場、岩手ガーリック(株)、(有)九戸屋肉店、マル庄) 計 4 社 ・経営分析件数 60 件 マル経 21 持続化補助金 22 経営革新計画 5 事業再構築補助金 2 経営力向上計画 1 先端設備導入計画 6 ローカルベンチマーク 3 ・事業計画策定件数 63 件 マル経 21 持続化補助金 22 経営革新計画 5 事業再構築補助金 2 経営力向上計画 1 先端設備等導入計画 6 DX 推進 6 県立大学と連携した支援※3 ※内訳 ① 学生服リユース shop さくらや盛岡店 ② 美容室ヒラトヤ滝沢店 ③ (有)哲学堂 ・創業計画策定件数 5 件 ・事業承継計画策定件数 30 件	A	A
						項 目	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度																																	
						経営分析件数	60 件	60 件	60 件	60 件	60 件																																	
項 目	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度																																							
(1)事業計画策定件数	35 件	35 件	35 件	35 件	35 件																																							
(2)創業計画策定件数	5 件	5 件	5 件	5 件	5 件																																							
(3)事業承継計画策定件数	5 件	5 件	5 件	5 件	5 件																																							
A	A																																											

経営発達支援事業の目標						実施する事業	事務局 評価	委員会 評価
6. 事業計画策定後の実施支援に関すること (目標)						・フォローアップ対象事業者数 84 社 ・頻度 336 回 ・売上増加事業者数 27 社 ・売上総利益率 5%以上増加事業者数 14 社 商工会で決算指導を行っている事業所の中から対象事業者をピックアップし、前年と比較した。	A	A
項 目	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度			
フォローアップ対象事業者数	45 社	45 社	45 社	45 社	45 社			
頻度 (延べ回数)	180 回	180 回	180 回	180 回	180 回			
売上増加事業者数	20 社	20 社	20 社	20 社	20 社			
売上総利益率 5%以上増 加事業者数	5 社	5 社	5 社	5 社	5 社			
7. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること (目標)						・地元消費者を対象としたテスト販売支援件数 下記日程により支援した。 10 月 1 日 パティスリー津志田 売上 25,000 円 10 月 15 日 n o m o s 売上 12,000 円 1 月 24 日 Café Wagtail 売上 6,000 円 3 月 3 日 (土日ジャンボ市 合同販売会) パティスリー津志田 売上 5,490 円 n o m o s 不参加 Café Wagtail 売上 10,000 円 3 社 計 58,490 円	B	A
項 目	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度			
①地元消費者を対象 としたテスト販売 支援件数	3 件	3 件	3 件	3 件	3 件			
売上額/社	3 万円	3 万円	3 万円	3 万円	3 万円			
②展示会、商談会出 展事業者	3 社	3 社	3 社	3 社	3 社			
成約件数/社	1 件	1 件	1 件	1 件	1 件			
③インターネット販 売の支援件数	3 件	3 件	3 件	3 件	3 件			
売上額/社	3 万円	3 万円	3 万円	3 万円	3 万円			
・展示会、商談会出展事業者数 商談会開催のほか専門家による事前・当日・事後指導を実施し、市場での商品レベルの把握と流通のための適正な食品表示を含めたパッケージ等についてアドバイスした。								

経営発達支援事業の目標	実施する事業	事務局 評価	委員会 評価
8. 事業の評価及び見直しをするための仕組みに関すること (事業内容) ① 滝沢市商工会経営発達支援計画事業評価委員会の開催 (年3回) 現状を踏まえ、年度当初 (前年度評価) と中間及び年度末の3回会議を開催する。また、引き続き外部専門家等を招聘して評価をいただくとともに、経営発達支援計画事業の進捗状況の報告及び事業の実績・結果について委員会に具申し、その内容について意見を頂戴する。その後、事業の内容について検証、改善を図ることにより、PDCAサイクルを適切に回していく。 9. 経営指導員等の資質向上等に関すること (事業内容) ① 外部研修への参加及び資質向上の取組 多種多様な支援ニーズと高度化に対応するための支援能力の一層の向上に向けて、引き続き、経営指導員、経営支援員の小規模事業者の事業計画策定、生産性向上や事業承継など小規模事業者の実態に応じた伴走型支援スキル向上を目指す。 このため、中小企業大学校が実施する外部研修については、経営指導員のみならず、	商談会 12月8・9日 福島県浪江町ほか 出展事業者 (伊藤牧場、岩手ガーリック㈱、 (有)九戸屋肉店、マル庄) 4社 成約件数 2社 計 127,000円 (伊藤牧場 岩手ガーリック㈱) ・インターネット販売の支援件数 (DX推進を図るための個別巡回) 6社 (Language Factory、BODYMAKE STUDIO AGUICHANT、㈱みちのくオート、パパズキッ チン、(有)関添食品工業、藍亭) に対し3か 月間 (月1回支援) に亘り実施した。 支援期間の新規受注売上 6社合計 164,200円 ・滝沢市商工会事業評価会議の開催: 3回 第1回 7月 4日 第2回 12月 25日 第3回 3月 28日 事業内容についての検証と改善 会議での意見等を基に、事業実施後に担当 者レベルで検証・改善について話し合い、 次のアクションに繋げた。 ・中小企業大学校が実施する外部研修 2名 9月11日～10月 6日 1名 10月11日～10月13日 1名	A	A

経営発達支援事業の目標	実施する事業	事務局 評価	委員会 評価
経営支援員の派遣も行い、事業計画策定に向けた分析手法や支援スキルの習得を図り、滝沢市商工会の支援能力の底上げを図る。さらに、岩手県商工会連合会のエキスパートバンク等専門家派遣を活用し、小規模事業者の相談において、職員が専門家に同行し、指導・助言等のノウハウ（伴走型支援のスキル向上や事業計画策定に向けた分析手法や支援の進め方など）の習得に努め、個社支援による組織的な支援能力の向上を図る。 ② 実践による全職員の資質向上 支援経験の豊富な岩手県内の商工会地区を広範囲にカバーする岩手県商工会連合会の広域経営指導員や経営指導員と経営支援員とがチームを組成し、巡回指導や窓口相談の機会を活用したOJTを実施する。また、企業に対する専門家派遣支援の際は、職員が同席し、そのスキルを学ぶこととする。さらに、3名のプロジェクトマネージャー（所定の養成研修を終了し、高度で専門的な経営課題に対応可能な人材として、岩手県商工会連合会会長から認定を受けた職員）を中軸として、事業計画策定について、OJT等により職員個々の能力を高め、全職員が伴走型の支援ができるように組織機能強化を図る。 ③ 支援ノウハウ等情報の共有化 職員の異動があった場合でも支援体制を維持するために、個社支援に係る分析結果や支援経過、結果等の情報は、支援等を引き継ぐ経営指導員や経営支援員にとって極めて有用な情報となる。ついては、事業者情報や指導内容や事業者情報について、滝沢市商工会の経営支援基幹システム商工イントラ（事業所基本情報・指導記録管理）を活用し、一元的な管理を行う。また、経営指導員及び経営支援員が伴走型支援を担当している小規模事業者事例や進捗状況を報告する「経営発達ミーティング」（月2回、年間24回）の開催を通して、職員間の支援ノウハウの共有や計画目標達成にむけたアドバイス等を相互に行い、支援能力の強化を図る。 10. 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること（事業内容） ① 滝沢市商工振興実務者連絡会の開催（年1回） 滝沢市商工会と滝沢市は市の商工業の振興を図るため、「滝沢市商工振興実務者連絡会」を平成17年（2005）から設置している。会議は、滝沢市商工会職員と滝沢市経済産業部企業振興課、観光物産課、農林課職員とで年1回開催している。会議では、「産	・エキスパートバンク等専門家派遣事業の活用 44件 （内訳）DX23 事業計画策定19 商品開発1 税務1 ・実践による全職員の資質向上 持続化補助金経営計画作成支援：職員5名 経営革新計画作成支援：職員5名 持続化補助金や経営革新等の案件を持ったOJT対象者や他の職員に対して、広域指導員や先輩職員がマンツーマンで指導した。 ・商工イントラの活用 経営支援履歴やその定量的把握、財務諸表のデータ蓄積に商工イントラを活用した。 ・経営発達ミーティング24回 伴走型支援をとおして得た気づきや問題点、改善方法を職員間で話し合い、支援ノウハウを共有に繋げた。 ・滝沢市商工振興実務者連絡会の開催 10月25日開催 滝沢市経済産業部と互いの事業について意見交換をし、課題の共有とアフターコロナでの連携を図った。	A	A

経営発達支援事業の目標	実施する事業	事務局 評価	委員会 評価
業振興」、「地域振興」、「連携事業等」について話し合っていることから、引き続きこの会議を活用すると共に、市役所の担当職員と経営指導員等滝沢市商工会スタッフの連携を強化し、合意された連携の方策及び役割について、各々の組織における方針・方向性に照らし合わせ、滝沢市商工会においては、市内企業が求めている具体的な支援課題に対応すると共に、職員の支援能力の構築を図る。 ② 市内の大学との連絡会の開催（年１回） 滝沢市商工会と市内２大学（盛岡大学、岩手県立大学）との連携ネットワークの構築に向けて、知的資源の活用、大学のシーズと地域のニーズのマッチングなど、市内商工業に対する意見交換の機会を設け、産学の協働、地元就職、インターンシップ等を促すための協議を行う。また、個別課題については、担当レベルでの検討を進めるものとし、一連の取組を通じて、連携による商工業発展に向けた共通認識を得ると共に、市内の企業に対する支援能力の向上を図る。 １１．地域経済の活性化に資する取組に関すること （事業内容） ① 滝沢市観光イベント事業の連携及び情報発信（年３回） チャグチャグ馬コまつり、スイカまつり、滝祭（ＴＡＫＩ－ＳＡＩ） 滝沢市、滝沢市観光協会、滝沢市商工会の３団体が連携を密にし、関係人口の増加及び地域の活性化を目的とした観光イベントを年３回開催する。 滝沢市商工会は、実行委員会の事務局及び構成員として、各イベントの賑わい創出のための出展の取りまとめや関係団体との連携によるホームページ、ＳＮＳ等を活用した情報発信を強化するための支援を通して、市内の交流人口増加と地域活性化を図る。 ② 企業間連携フォーラムの開催（年２回） 滝沢市商工会と市が共催し、市内における企業間の連携及び新型コロナウイルス感染症により疲弊し、厳しい経営環境にある小規模事業者のＩＣＴ・ＩｏＴ導入による生産性向上を推進するため、誘致したＩＴ・物流・製造企業や大規模事業所等との新たな交流の場を設けるため各種フォーラムを開催する。	・市内の大学との連絡会の開催 盛岡大学で岩手県立大学、盛岡大学担当者との意見交換会を実施した。 (市内２大学との意見交換会) ３月２１日 対面開催 テーマ：「学生の滝沢市内就労意欲の向上並びにインターンシップ促進に向けた連携について」 ・チャグチャグ馬コまつり ６月１０日開催 ・スイカまつり ８月１１日開催 ・滝祭（ＴＡＫＩ－ＳＡＩ） ８月２６日・２７日開催 ホームページやＳＮＳを活用して、事前周知や事後報告を行った。 ・企業間連携フォーラムの開催（２回） １２月１６日 チャグジョブ滝沢お仕事体験事業（小学生対象） ２月５日 Excel活用セミナー	A	A

経営発達支援事業の目標	実施する事業	事務局 評価	委員会 評価
フォーラムには、会員非会員にかわりなく参加者を募る。ＩＴ企業からは、ＩＴ化戦略による経営改善等、誘致企業からは、先進の技術等による経営ノウハウを学ぶ。また、企業間・企業とＩＴ・農業者とＩＴとの連携を深めることにより、農業者との連携による新たなネットワーク構築や、取引に有効活用され、地元事業者の進展、新規分野への展望が開け創業や利益向上につながる。これら一連の取組を通して、地域経済の活性化をめざす。 ③ 滝沢市商工会青年部と連携した仕事マッチングフェアの開催（年１回） 市内商工業者の認知度の向上や地元企業への定着率の向上を図り、滝沢市での就業人口の確保につなげることを目的として、商工会青年部と連携し実施する。滝沢市商工会は、内部組織であり事務局を担っている、若手経営者及び若手後継者の集まりである滝沢市商工会青年部を中心に、滝沢市、市内教育機関と連携を図り、この事業を実施することで、人材確保の面から地域経済の活性化に寄与する。 総合評価	・仕事マッチング事業の開催（１回） 下記日程で開催した。 ３月３日（日） 参加企業数 30 社 来場者 127 名（延べ企業訪問者数 277 名） 終了後の個別対応 56 名 採用予定 10 名	B	A